

唐木田コミュニティセンター運営協議会第7回定期総会議事録

1. 開催日時：平成29年5月13日（土）10時から12時09分
2. 開催場所：からきだ菖蒲館2階ホール
3. 出席者：別紙名簿のとおり。

（実出席 37名、委任状出席 19名）

4. 議事内容

- (1) 10時、司会・原田総務企画部委員が唐木田コミュニティセンター運営協議会第7回定期総会の開会を宣言。

河本会長が開会挨拶。

『おはようございます。お忙しいなか、総会にご出席いただきありがとうございます。阿部市長、岩永市議会議長、その他ご来賓の皆様にはご臨席いただきお礼申し上げます。運営協議会が発足し8年目、からきだ菖蒲館がオープンし7年目となりますが、最大の使命である地域コミュニティづくりは着実にすすんでおります。これは、委員各位、事務局スタッフ、市当局の方々のご協力の賜物であり、改めて日々の活動に御礼申し上げます。』

さて、28年度は過去最高となる287回のイベントを実施しました。本年もいろいろなイベントを計画しておりますが、最大のものとしてからきだ菖蒲館まつりを10月14日から15日に開催することを予定しております。昨年は6000名の来場者が得られましたが、本年もより充実したまつりにしていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

本日の定期総会では、28年度の活動内容と決算内容を報告、29年度の活動計画と予算をご協議いただきます。皆様からのご意見をいただき、実り多い総会となることを祈念し、開会のごあいさつとさせていただきます。』

- (2) 続いて来賓あいさつ。

まず、阿部市長。

『おはようございます。暑い日が続きましたが、今日は久しぶりの雨で過ごしやすいく感じとなりました。このような天候のもと運営協議会定期総会が開会され、誠にありがとうございます。毎年お祭りの際にお邪魔していますが、昨年も多くの参加者であふれ、お互いの肩が触れ合うような賑わいでした。とくに、お子さんが多く、驚かされました。運営協議会の地域に根差した活動の賜物と感謝申し上げます。』

さて、多摩市では、4月20日付け広報でお知らせしましたが、健幸都市宣言をつくりました。「多摩市健幸都市宣言起草委員会」で市民の方々に検討していただいたものを、3月の市議会において全会一致で議決していただきました。地域において誰もが幸せに暮らしていけるまちづくりを目指すものです。コミセン活動は、ここコミュニティセンターを場に、地域の皆さんがつながりを深める、まさにまちづくりの実践の現場であり、期待しています。

国から衆議院小選挙区の区割り変更案が出されました。現在、多摩市は全て東京23区に属していますが、変更案によれば、聖蹟桜ヶ丘近辺を分離し、東京21区に所属さ

せようとするものです。とにかく1票の格差を1.99倍以下に抑えるため、地域の実情など考慮せず、線を引いたものです。多摩市の面積はたった21平方キロメートルしかありません。これを割られると、地域の声が国にとどかなくなります。新東京21区は、国立市、立川市、日野市および多摩市一部さらに稲城市一部、八王子市一部で、つながりに乏しい数合わせと言わざるをえません。よって、強く抵抗しています。臨時議会を開催していただき、再考要請を議決していただきました。しかしながら多勢に無勢、来週中には正式に政府案として決定されそうな状況で、憤懣やるかたございません。

ところで、多摩市には、からきだの道を始め、よこやまの道や多くの遊歩道があります。3月に、これらをまとめたガイドマップを作成しました。また、公園などに案内図を整備しました。以前から、からきだ菖蒲館で作成されたウォーキングマップを活用させていただいていました。このガイドマップを、まちをつなぐものとして、活用していただければと思います。また、NHKの全国ラジオ体操を、8月31日に宝野公園を会場として実施することになりました。健幸都市をPRしたいと思います。

本日の総会開催、おめでとうございます。運協の日頃の活動にお礼申し上げますとともに、本年のさらなる活躍をお願いし、お祝いのあいさつとさせていただきます。』
続いて、岩永市議会議長。

『おはようございます。5月8日の臨時議会で、萩原前議長からバトンを引き継ぎました岩永です。副議長に選ばれました三階議員ともども、新体制をよろしくお願い致します。』

第7回定期総会の開催、おめでとうございます。

昨日、議案書を見せていただきましたが、会合の数を数えてみると市議会よりもはるかに多く実施されており、びっくりしました。年々、事業数、イベント数も増えていきます。市からの財政補助が厳しくなる中で、皆さんの努力は大変ありがたいです。少子高齢化の中、ここに来れば安心というコミセンの役割がますます大事になります。市議会としてできる限りフォローさせていただきたいと思います。

本日はお招きいただき誠にありがとうございます。皆様のますますのご健勝ご活躍を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。 』

(3) 司会・原田総務企画部委員より、ご来賓8名を紹介。

(松尾多摩市くらしと文化部長、尾又多摩市くらしと文化部コミュニティ生活課長、守谷同課主査、山本同課主事、栗崎図書館長、米山唐木田図書館長、三枝唐木田児童館長、高橋「和」店長)

(4) 10時20分、定期総会に入る。

司会・原田総務企画部委員が、運営細則3条の規定にもとづき、議長の選任を提案する。会場より、「司会に一任。」の声があがったため、司会は金光総務企画部会副部会長を指名した。金光総務企画部会副部会長は議長就任を受諾、議長席に着く。

金光議長は、書記に、総務企画部会の望月健太郎氏を、議事録署名人に、健康・スポーツ部会の脇よし子氏および福祉部会の菊池勇平氏を指名した。

また、金光議長より、後藤事務局長を議事進行補助者として会場に同席させることが

報告された。

次いで、議長より、委員の出席状況は『29年3月31日現在の委員数は63名で、本日の実出席が37名、委任状出席が19名（会長に一任）、合計56名』で、出席者が委員総数の過半数を超えており、運営細則第6条2項の規定に則り総会が成立していることが報告された。

- (5) 10時24分 金光議長より、第1号議案「平成28年度 活動報告（案）」および第2号議案「平成28年度 決算報告（案）」を一括して説明することを河本会長に求めた。

河本会長より、議案資料2ページから3ページおよび8ページにもとづき、「平成28年度 活動報告（案）」のうち「総括」部分についての説明がなされた。

【説明時の特記事項（資料に記載のない口頭説明）】

- ① 8ページの資料1について：コミュニティルームの年間利用率は51.7%（前年42.5%）で前年度より上昇した。28年度よりギャラリーの学習利用をコミュニティルーム利用率に含めることにしたため、大きく上昇した。単純比較できないが、他館よりも高い。ギャラリーの学習利用率は41.6%（前年39.8%）で前年度より上昇した。
- ② 多摩市社会福祉協議会が地区別の地域福祉推進委員会を設置しており、当コミセンエリア（第10エリア：鶴牧・山王下・中沢・唐木田地区）にも、昨年7月、設置された（多摩市内で一番最後）。この委員会に、会長が運協を代表し出席している。
- ③ コミュニティルームの使用時間区分で、15分のインターバル時間を設けることを市に提案し、6月の市議会で条例が改正され、10月から実施した。
- ④ 施設使用料について多摩市は、「公共施設の使用料設定にあたっての基本方針」見直しについての使用料等審議会の提言（素案）に対するパブリックコメントを平成29年3月に実施しており、何らかの見直しが見通しである。】

次いで、各部会長より、議案資料3ページから6ページにもとづき、活動報告についての説明がなされた。（総務企画：佐藤部会長、広報：柳井部会長、健康・スポーツ：河本部会長、福祉：北川部会長、文化：鈴木副部会長、まちづくり：尾崎部会長）さらに、河本会長より、議案資料7ページにもとづき、特別委員会についての説明がなされた。

【説明時の特記事項（資料に記載のない口頭説明）】

- ① 総務：諸規程等の改定は、「施設使用規程」の改定のこと（資料24ページ）。
- ② 広報：ホームページのリニューアルは28年4月。年間訪問者数が約1.3倍になった。
- ③ 福祉：映画鑑賞会が定着。最高120名の参加があった。今後は、安全上、100名までとする。
- ④ まちづくり：花いっぱい活動を継続。多摩市からの花苗は100株しかないので、セブンイレブン記念財団からの助成（35万円）の大部分を花苗購入に充てている。
- ⑤ からきだ菖蒲館まつり：27年度より、3館同時開催（福祉センター、環境組合）

としている。委員の参加が46名であり、今後、全員参加を目指したい。

- ⑥ 桜まつり：27年度に引き続き、地域福祉推進協議会との共催とした。(27年度の地域福祉推進協議会は準備段階の組織)

(11時05分) 次いで、古沢会計役員より、議案資料13ページから15ページにもとづき、「平成28年度 決算報告(案)」についての説明がなされた。

【説明時の特記事項(資料に記載のない口頭説明)

- ① 10周年記念事業の準備のために、周年記念事業積立金という科目を立て、10万円計上している。当運営協議会ではひとつの会計しか持たないので、基金は単年度の支出として計上し、次期に繰り越す処理をしている。】

(6) 11時10分 金光議長より、監事に対し、監査報告を求めた。

石田監事より、議案資料16ページの「監査報告書」に記載のとおり、業務執行状況、会計執行状況ともに適正であることが報告された。

(7) 11時11分 金光議長より、今回は、総会議案書に対し質問・意見があれば事前に書面によりいただくこととしたが、第1号議案および第2号議案について、以下の提出があった(①～③は松原氏(まちづくり部会)、④⑤は桐木氏(まちづくり部会)より)ので、役員会に回答を求めた。

- ① 2階ホールの下駄箱手前の下足禁止ラインが下駄箱と離れており、ラインから下足を持って下駄箱まで行きスリッパに履き替えなければならない。下足禁止ラインをホール入口にすれば、下足でそのまま下駄箱まで行けるので、特に高齢者には楽になると思う。2年ほど前から提案しているが、改善されない理由は何でしょうか？
- ② ホール内倉庫にある黒ピアノ台車は、使用しないのであれば、花壇台車としてリニューアルしていただきたい。
- ③ 6月の中沢池公園での菖蒲見学会について、公園緑地課、府中カントリー、島田療育園と共催で、「しょうぶまつり」と銘打ち、全市で認知されるような行事にできないものか(からきだ菖蒲館では、囲碁、三目ならべ(軽スポーツ)等をプレしょうぶまつりとして実施)。
- ④ 決算で、予算を超過している理由は何か。
- ⑤ 決算で、科目流用しているものがあるが、そのルールはどのようになっているのか。

A(橋本副会長) ①下足の扱いについて、そもそもホールを下足可としたいという意見も以前からあるが、検討の結果、現時点のルールでよいとしている。

ご意見に沿って履き替えについて試してみたが、どうしても靴に土が付いてるので、下駄箱前がきれいな状態に保てないと判断した。また、高齢者の方は、履き替えは長椅子に座って行なうのが楽である。長椅子をホール入口に近いところに移すことも考えられるが、どうしてもホールの出入りの邪魔になる。今の状態が便利だと思う。高齢者への配慮は、今後も継続して検討しますので、よろしく願います。

②ピアノの台車は、機会は少ないが使用している。多くの人がいる時は布を敷いて滑らすこともできるが、少人数の時はこの台車がないと動かせない。

③「しょうぶまつり」は、アイデアとしてはおもしろいが、お金も、労力も、時間もか

かることなので、今後、部会で検討していただきたい。

A (太田会計役員) ④予算と実績のずれが大きい項目について、説明します。「人件費(給与・賃金)」(△204,480円)については、3年ごとに事務局スタッフを入れ替えるが、28年度はその年で、新スタッフの研修の費用がかかりました。「備品購入費」(△510,871円)については、もともと多岐にわたる購入要望があるなかで期末の次期繰越金の見通しを見て、役員会で、繰越金を100万円以下におさめる範囲で購入を判断しました。今回は、パソコン、照明機器、落語高座台を購入しました。

⑤一昨年から同じ質問をいただいています。科目流用のルールについては、会計細則第5条(予算の変更)にもとづき役員会の承認を得て実施しています。『会計細則第5条 コミュニティセンターの管理運営及び協議会の事業活動を効果的に実施するために必要があると認められるときは、次の手続きを経て予算を変更することができる。(1)科目間の流用及び予備費の使用は、役員会の承認を経て行うことができる。』

A (河本会長) ①について、4年前に下足に関するアンケートを実施し、圧倒的に履き替えた方がよいという意見が多かった。ホールを利用する団体の中には床に寝転んで運動する方々もおり、下足を許すと汚くなるという意見が強い。

Q (松原氏) ホールの下足の扱いは今のままでよい。ホール内のことではなく、入口の下足禁止ラインをできるだけ入口に近づけるよう意見を申し上げているのである。靴を脱いでからスリッパがある下駄箱までが離れすぎている。

A (金光議長) ご意見として承る。

なお、このような意見は利用者懇談会等では出ていないことを申し添える。

他に、ご意見はありますか？

Q (戸辺委員) 周年記念事業積立基金を28年度10万円積み立てたということであったが、積立金の累計はいくらになっているのか？

A (河本会長) 28年度に開始したもので、累計も10万円である。以前のものは、5周年記念で使用しましたので、積立金はゼロです。

Q (戸辺委員) ピアノの運搬台車を使用する理屈はそもそも床を傷つける云々ではないはず。ピアノの移動にあたっては、引きずらない方がよい。

A (金光議長) ご意見として承る。

金光議長は質問が出尽くしたことを確認のうえ、第1号議案、第2号議案を一括で採決に入ることを宣した。

賛成の委員に挙手を求めたところ、挙手多数で、第1号議案、第2号議案は提案どおり可決された。

(9) 11時27分 金光議長より、第4号議案「平成29年度 活動計画(案)」および第5号議案「平成29年度 予算(案)」を一括して説明することを河本会長に求めた。

河本会長より、議案資料17ページから18ページにもとづき、「平成29年度 活動計画(案)」のうち「I 運営方針」部分についての説明がなされた。

次いで、「II 事業計画」について、総務企画部会、広報部会に関しては、橋本副会長より、議案資料18ページにもとづき説明がなされた。健康・スポーツ部会、福祉部会、文化部会、まちづくり部会に関しては、高橋副会長より、議案資料19ページから21ペー

ジにもとづき説明がなされた。特別委員会に関しては、河本会長より、議案資料 21 ページにもとづき説明がなされた。

【説明時の特記事項（資料に記載のない口頭説明）

- ① 運営方針：委員がスタート時の 70 名をピークに出入りはあるも減少傾向。協力員も含め、加入促進をはかる。
- ② 健康・スポーツ部会の健康・医療講座事業と福祉部会のセミナーはテーマが重なる部分がある。両部会で持ち方を相談したい。

引き続き、橋本副会長より、議案資料 22 ページから 23 ページにもとづき、「平成 29 年度 予算（案）」の説明がなされた。

(10) 11 時 48 分 金光議長より、第 4 号議案および第 5 号議案についても、事前に総会議案書に対する以下の質問・意見の提出があった（①②は桐木氏（まちづくり部会）より）ので、役員会に回答を求めた。

- ① 29 年度予算案で、前年実績以下の費目があるが、事業等の対応はできるか？
- ② 29 年度事業計画で、文化部の事業から「大人のための朗読会」が無くなったのは何故か？

A（橋本副会長）①事業上の対応は大丈夫です。複写機・印刷機トナー等、28 年度中に購入してあり、今年度の必要額は少なくてすみます。

A（高橋副会長）②「大人のための朗読会」は実施者のご都合がつかなかったため、計画できませんでした。

Q（桐木委員）昨年の「大人のための朗読会」は満員盛況で入ることができない人もいた。無くなるのは残念である。楽しいイベントで是非盛り上げていただきたい。

金光議長より、出席委員に対し、第 4 号議案および第 5 号議案についての質問を求めたところ、以下の質疑があった。

Q（戸辺委員）29 年度運営方針で、マンネリ化を廃するというのもっともなことである。委員の年齢が高くなっている。コミセン利用者は若い人も多いが、ただ使うだけである。利用者の中から、新たな委員を求めなければならない。特に、女性と若い人を確保せねばならぬ。利用者懇談会を単に年 1 回やるのではなく、その前段で、委員としての参加を求める場を設けるなど考えてもらいたい。

自分は広報部会に属しているが、活動がルーチン化している感じがする。既存のことではないことをすることを考える場が欲しい。そのためには、時間や場所で従来とは異なる設定をし、新しい人が入ってこられるような場にしなければならない。

A（橋本副会長）全く同感。利用者から望まれているからということで、同じことを繰り返してしまっている面がある。若者を取り込めていない。委員の高齢化は深刻化している。役員顔ぶれも、この 7 年間ほぼ同じで、加齢に伴い病院の世話になっている人も多い。地区内の元気な高齢者に声をかけるが、ボランティアでは加わってもらえないのが現実である。若者が来やすい時間設定というのは考えたい。


A（河本会長）最近の傾向として、活動には参加するが、世話役は勘弁して欲しいという面もある。あきらめずに、自治会、マンション管理組合等、いろいろな組織に参加を訴えていきたい。

- A (金光議長) 児童館の三枝館長にご協力を仰ぎ、若者の参加を工夫しましょう。
- 金光議長は質問が出尽くしたことを確認のうえ、第4号議案、第5号議案を一括で採決に入ることを宣した。
- 賛成の委員に挙手を求めたところ、挙手多数で、第4号議案、第5号議案は提案どおり可決された。
- (11) 12時 金光議長より、第3号議案「役員(監事1名)の選任承認」について提案説明することを河本会長に求めた。
- 金光議長より、出席委員に対し質問を求めた。
- Q (戸辺委員) 総務企画部会長はどうなるのか?
- A (河本会長) 佐藤部会長の監事就任が承認されれば総務企画部会長は交替する。後任候補は原田委員である。
- 金光議長は質問が出尽くしたことを確認のうえ、第3号議案の採決に入ることを宣した。賛成の委員に挙手を求めたところ、挙手多数で、第3号議案は提案どおり可決された。
- (12) 12時04分 金光議長は審議事項が終了したことを宣し、佐藤総務企画部会長に報告事項の説明を求めた。
- 佐藤総務企画部会長は、議案資料24ページから27ページにもとづき、「施設使用規程の一部改定」および「新会員の報告」について説明した。
- 加えて、2つの部会の部会長交替を報告した。
- 総務企画部会 原田部会長
健康・スポーツ部会 笠井部会長
- (質疑)
- Q (松原委員) 委員の入会・退会の届け出の用紙がひとつの用紙になっている。入会と退会は分けるべきである。また、入会用紙に、「会則に則り」という記載があるが、入会前に会則の説明及び理解は困難である。先日、ある人に入会を勧めた際、説明に窮した。すっきりしたものに改善してもらいたい。
- A (金光議長) 役員会で検討してください。
- Q (桐木委員) 25ページの小泉洋子さんの退会日が「28年3/22」となっているが、「29年3/22」ではないか?
- A (金光議長) ご指摘のとおりです。そのように訂正します。
- (13) 12時09分 金光議長は全ての議事が終了したことを宣し、議長席を離れた。
- (14) 12時09分 司会・原田総務企画部会長が唐木田コミュニティセンター運営協議会第7回定期総会の閉会を宣言した。

唐木田コミュニティセンター運営協議会第7回定期総会の議事録の証として、運営協議会運営細則第3条の規定に基づき、議長、書記及び議事録署名人が署名・捺印する。

平成 29 年 5 月 13 日


議長

金光秀郎 

書記

望月健太郎 

議事録署名人

脇 正子 

議事録署名人

菊池 勇平 